

アンケート調査からみられる文化芸術に対する若者の状況

アンケート調査結果より、10～40 歳代の調査結果の整理を行った。

1 文化芸術の鑑賞について

- 年代が低くなるほど「鑑賞した」割合が高く、20～30代では6割以上、10代では7割以上を占める。鑑賞していない人の理由では「時間がない」や「興味がない」が多い。
- 鑑賞した内容では、「メディア芸術（映画、漫画、アニメなど）」が6～7割を占めて最も高く、次いで「音楽（クラシック、ジャズ、ロック、邦楽、歌謡曲など）」と続く。
- 鑑賞した場所では、概ね年代が若いほど「自宅（DVD、書籍など）」や「県外での施設」が高くなる傾向がみられる。また、10代では「学校」の回答も高い。

2 文化芸術の活動について

- 活動状況は、10代で3割を超えるものの、20～40代では2割未満と低い。活動しない理由では、10～20代では「興味がない」、30～40代では「時間がない」が最も大きな理由となっている。
- 活動した分野では、10代では「音楽」や「美術」などの回答が高く、学校での活動が含まれると考える。その他、「地域の伝統芸能・民俗芸能（祭りなど）」が20～40代で高く、特に20代では活動者の半分、30～40代では活動者の3割近くを占める。

3 文化芸術に対する意識・情報について

- 文化芸術については、年代に関係なく大切と感じている人が多く、姫路市の文化芸術に対しては、鑑賞・活動のための施設や催しの開催が充実していると感じている人は多い。
- 情報の入手については、SNSやインターネットでの入手が主となっており、広報紙や紙媒体の情報からの入手は少ない傾向がみられる。また、10代では「家族・友人・知人」や「学校」など、主に口コミでの情報入手が多い傾向がみられる。
- 必要な情報では、10代では「施設の空きや利用予約の情報」を望む人が他の年代に比べてやや多い。

4 文化芸術施策への要望

- 文化芸術施策に関して姫路市に望むことでは「子どもや若い世代が文化芸術に関心を高める催しが数多く開かれている」、姫路市が力を入れるべきことでは「子どもや若い世代が文化芸術への関心を高める事業を実施する」が高くなっており、「子どもや若い世代」を対象とした取組を望む人が多い。

5 自由意見分析

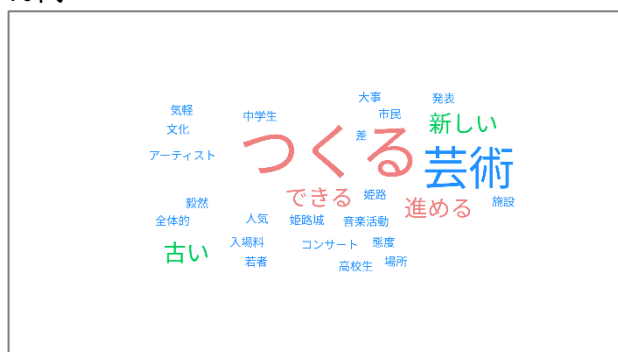
- 自由意見をみると、“活動”や“体験”に関する単語がみられ、特に30～40代では親視点での子どもの体験活動の充実などを望む意見がみられる。また、“宣伝”や“活用”などもみられることから、文化芸術を活用した交流や魅力発信に対する意見もみられる。

《参考：各年代での特徴語》

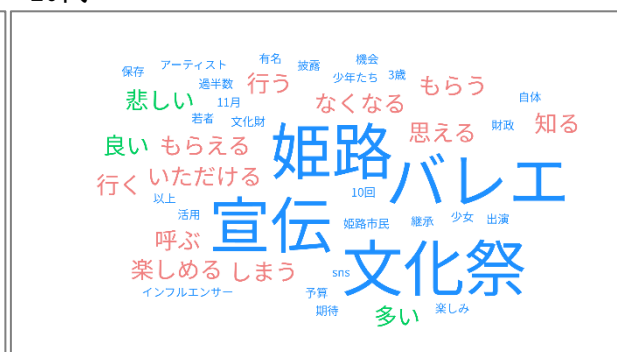
10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
毅然 音楽活動 全体的 態度 中学生 つくる 入場料 高校生 気軽 人気 差 大事 進める 古い 新しい 若者 発表 場所 芸術 ほしい コンサート	文化祭 バレエ 宣伝 文化財 過半数 財政 インフルエンサー 少年たち 継承 3歳 10回 披露 少女 11月 保存 出演 自体 以上 なくなる 楽しみ 思える	体験 参加 親 増える ヴィクトリーナ sixtones 芸術祭 播州 異文化交流 おたより 自閉症 現存 ファクトリー 兆し 手ぶら 利権 ブック 4歳 支え 屋台 ok	若い世代 灘 部活 ホール 折り込み 前例 気づく 幼い わかりやすい ありがたい チラシ 観光 地域 親 情報 行ける アクリエ 芸術 参加 ひめる 触れる	伝える 発信 ホール 大きい 情報 アクリエ 姫路駅 父兄 芸術家 芸能 万博 冊子 ビジョン 美術 プロ 趣味 内容 物 音 はず おる	活動 情報 クラブ活動 盛ん 高齢者 街 利用 公演 大阪 いதாக 芸術 文化 開催 必要 機会 公費 親しみ 一流 交通 オペラ 都市

《参考：年代別のワードクラウド》

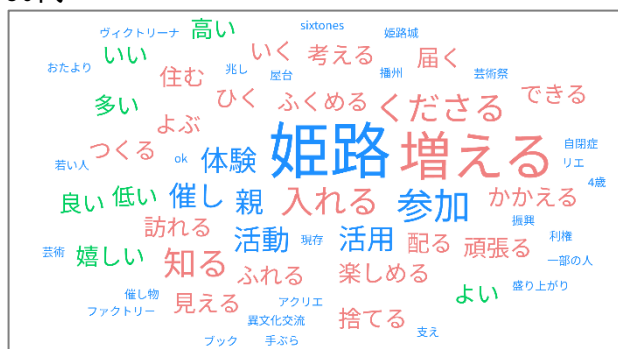
10代



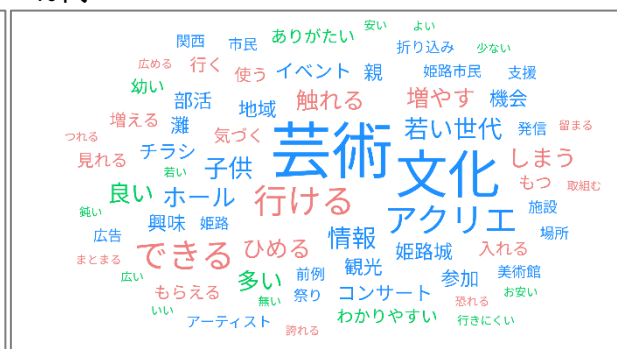
20代



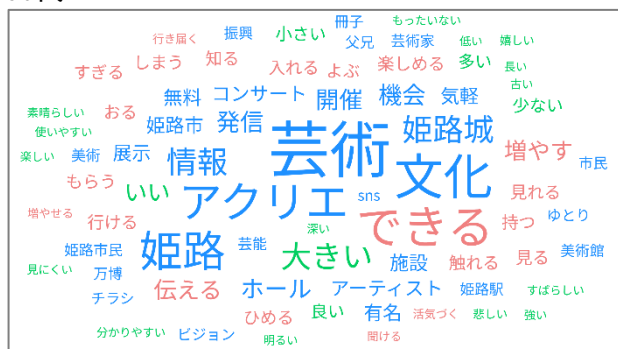
30代



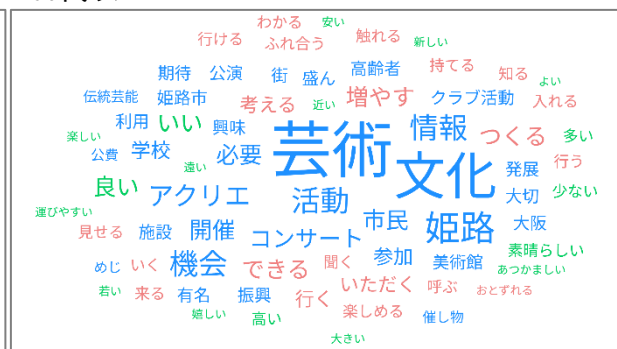
40代



50代



60代以上



※単語の大きさは出現頻度を、単語の色は品詞の種類（青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞）を示す。